

はリンク

はWAMNETの事業者情報にリンク

事業所名

万富の郷

日付 平成 21年 3月 3日

特定非営利活動法人

評価機関名

ライフサポート

評価調査員 在宅介護経験10年

評価調査員 介護支援専門員経験8年

自主評価結果を見る

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)

車が万富に入り、目印の案内標識を確認して左折するにつれて「利用者のあの方は、今日会えるかしら？どんなお顔をしてられるかしら？あの職員さんは？」等々、一昨年外部評価訪問時の記憶が鮮明に蘇ってくる。胸がときどきする。「あっ、居られた！お元気そう。2年前とお変わり無さそう」と、先ずAさんを発見。皆さんとご挨拶を交わしている内に、懐かしいお顔の利用者さん、職員さんを見付ける事が出来た。

このホームのリビングの中央に、でんと並べて据え付けられた二つのがっかりした机がある。この木製机がこのホームで果す役割は、実に大きくて多彩だ。午前中はこの机を囲んで皆さん思い思いの事をしている。手仕事をする人、お隣同士お喋りをする人、職員が間に入るとそのお喋りは四方八方に飛びかい笑いが伝染する。間では職員がリードして軽い手遊びやボール遊びも入る。そして何より、職員の話し掛けや色々な誘いに対して、皆それぞれにその人らしい返答や反応があるのが面白くて楽しい。「あの方は半分居眠りをしているようなので聞こえているのかしら？」と思っていた人も、ボソボソ喋り出す。隣の職員が皆に聞こえるような大きな声で再現してくれるので、又笑いの渦が沸き起こる。話を振られずしーんとしていた人にも、気が付いた職員がすかさず声を掛ける。職員のチームワークが素晴らしい。

ゆっくりとカレーの昼食を頂いた後も、更に皆ゆったりとしている。机を挟んで皆お互いの顔を見ながらのお喋りが続く。職員の上手い誘い掛けに乗る「おとうさん」の歌も聞けた。朝、私が一番に見つけたAさんにアイコンタクトを送っていると、Aさんは私の方に笑顔を返してくれた。隣のBさんは「へんな言い方だけど、Aさん、可愛いでしょう。あの笑顔、とっても可愛い」と私に耳打ちしてくれた。この場面以外にも利用者同士の優しい思い遣りを感じる事が、利用者同士、利用者職員、そして、職員間のお互い寄り合い助け合う和気藹々の雰囲気をつい感じました。この場に私もずっと居続けたいと思った。人と人の温もりがこの大きな机を通して伝わってきて「この人の輪は、ささやかなうただけど素晴らしいな。ずっとずっと続くといいな」と思った。「みんなが集まって来て、心をついに」が実現しているホームである。

特に改善の余地があると思われる点

春や秋の良い季節には外気に触れるチャンスも自ら多く持てるだろうが、この季節はどうしても体の動きが少なくなりがちになる。しかし、だからこそ、屋内だけでも「自分の足で立つ」「支えて貰いながらも自分の足で歩く」「姿勢を変えて体重が掛かる位置を変える」等の支援の回数を増やしてみてもどうかと思います。リハビリ運動をケアプランに入れて、リハビリ表等の作成や記入も自分で出来る人にはして貰えば、張り合いを感じる人も出てくるのではないのでしょうか。

2. 評価結果 (詳細)

I 運営理念

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|------|---|-------|-----|
| 1 | 理念の具体化、実現及び共有 | | |
| 記述項目 | グループホームとしてめざしているものは何か | | |
| 記述回答 | <p>1、自主評価について…：今回の改善項目には挙げられていないが、一人ひとりの人格を尊重し、例えばその人の気持ちを傷付けるような態度や言葉遣いに気を付けたり、ペースを大事にする等、日頃からよく配慮し、出来ているかどうか振り返ってみるのがとても良い。</p> <p>2、全体的に見て…：このホームの良い所は？の質問に「えー！何だろうか？」の次に返ってきた答えの一つが「利用者の皆さんが、とても元気な事、風邪もひかれなかった。実際、一昨年の訪問の時に会った人も殆どお変わりなく、多少の重度化はあるものの、病気を患う人も少ないようだ。お昼御飯も皆同じ食事を、大半の人が完食していた。平均年齢88歳を越えている皆さんの元気の源は「このホームに居させて貰えるからよ。職員さんが小まめによく見て下さるからよ」の利用者家族の言葉から窺い知る事が出来るだろう。</p> | | |

II 生活空間づくり

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|------|---|-------|-----|
| 2 | 家庭的な共用空間作り | | |
| 3 | 入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり | | |
| 4 | 建物の外回りや空間の活用 | | |
| 5 | 場所間違い等の防止策 | | |
| 記述項目 | 入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か | | |
| 記述回答 | <p>1、自主評価について…：生活の場作りを今以上に広げていく方策の一つとして、昨年同じ敷地内に併設されたデイサービスを利用して、新しい仲間作りや楽しみ事・リハビリに繋がりたいという計画は、双方に良い刺激となって良いと思う。</p> <p>2、全体的に見て…：90歳前後の高齢で、動くのに支援が必要だったり、十分なコミュニケーションが取れない状態の人も居る中で、一人このホームの「お母さん」の様に炊事・洗濯物の世話等、家事を一手に引き受けたり、他の利用者の世話をしてくれる人が居る。「よく何でもして下さるので皆さんとても助かっていて感謝されていますよ」と私が労うと「何でもさせて頂けて有難いと思っています」という答えが返ってくる。しかし、時に「仕事を全部自分ばかりにさせて！」と不満を漏らすこの人の相反する両方の気持ちを、職員はしっかりと受け止めて、このホーム・この場での「その人の役割作り・居場所作り」に取り組んでいる。</p> | | |

III ケアサービス

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|----|---------------------------|-------|-----|
| 6 | 介護計画への入居者・家族の意見の反映 | | |
| 7 | 個別の記録 | | |
| 8 | 確実な申し送り・情報伝達 | | |
| 9 | チームケアのための会議 | | |
| 10 | 入居者一人ひとりの尊重 | | |
| 11 | 職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ | | |
| 12 | 入居者のペースの尊重 | | |
| 13 | 入居者の自己決定や希望の表出への支援 | | |
| 14 | 一人でできることへの配慮 | | |
| 15 | 入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫 | | |
| 16 | 食事を楽しむことのできる支援 | | |
| 17 | 排泄パターンに応じた個別の排泄支援 | | |

III ケアサービス(つづき)

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|------|--|-------|-----|
| 18 | 排泄時の不安や羞恥心等への配慮 | | |
| 19 | 入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援 | | |
| 20 | プライドを大切にした整容の支援 | | |
| 21 | 安眠の支援 | | |
| 22 | 金銭管理と買い物の支援 | | |
| 23 | 認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保 | | |
| 24 | 身体機能の維持 | | |
| 25 | トラブルへの対応 | | |
| 26 | 口腔内の清潔保持 | | |
| 27 | 身体状態の変化や異常の早期発見・対応 | | |
| 28 | 服薬の支援 | | |
| 29 | ホームに閉じこもらない生活の支援 | | |
| 30 | 家族の訪問支援 | | |
| 記述項目 | 一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か | | |
| 記述回答 | <p>1、自主評価について…：「習字の上手い利用者が居るので、習字の時間を設定して楽しみやリハビリにつなぐ」はとても良い計画と思うので、こういった試みを今後も是非継続して欲しい。他の楽しい事にも波及出来たら尚良いと思う。</p> <p>2、全体的に見て…：利用者の個人ファイルの中のフェイスシートには、その人の歴史が要領良くまとめられている。これらを土台にして、今後更に本人・家族から聞き取りを加筆したノート等を作り、現在の日々のケアの中で残しておきたい出来事や言葉を加えていけば「個人史」が出来て、より良いサービスに繋がっていくかも知れない。発語や意志疎通が少なくなった時にも役立つかもしれない。又、ケアプラン作成やモニタリングも丁寧に、そして適切になされている事も、利用者が相変わらず元気な日々を送っている礎となっているに違いないと思われる。「その人らしさ」や「本人の心に秘めた事柄」に想いを馳せる職員の心配りも、一人ひとりの尊重に結び付いているのだろう。</p> | | |

IV 運営体制

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|------|--|-------|-----|
| 31 | 責任者の協働と職員の意見の反映 | | |
| 32 | 災害対策 | | |
| 33 | 家族の意見や要望を引き出す働きかけ | | |
| 34 | 家族への日常の様子に関する情報提供 | | |
| 35 | 運営推進会議を活かした取組 | | |
| 36 | 地域との連携と交流促進 | | |
| 37 | ホーム機能の地域への還元 | | |
| 記述項目 | サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。 | | |
| 記述回答 | <p>1、自主評価について…：利用者の言動の真の意味を理解しようとしていたり、身体的なレベルも持続出来る様、日々サービスの質の向上に向けて職員全員が力を合わせてよく頑張っている。便秘予防の対策の一つとして排泄後に歩行運動をという試みは、ケアプランにも加えて是非続けて実行して欲しい。歩く回数が増えると波及効果も大きいと思う。</p> <p>2、全体的に見て…：昨年のデイサービス開設に伴い、管理者が交代している。管理者は「自分は未だ何も出来ないが、スタッフの皆が助けてくれて…」と話している。しかし、スタッフのチームワークは良く、それぞれの個性も十分生かされている感じがするので今のままの協力関係を保ちながら続けていくのが良いと思う。何か問題が発生してもよく話し合い知恵を絞って合えば解決の糸口はつかめるだろう。職員が明るく前向きで、自主性が尊重されているホームは、利用者の心にも大きく響いていくと確信している。</p> | | |